

2025年度成果報告会

日 時：2026年2月24日（火）、25日（水）、27日（金）

開催形式：オンライン（ZOOM）

2月24日（火） 東京大学医科学研究所-成果報告会

14:30- 14:35 開会の辞
岩間 厚志（東京大学医科学研究所 所長）

【領域1：先端医療研究開発共同研究領域】

14:35- 14:50 Beate HEISSING（順天堂大学）
血液凝固・線維素溶解系によるサイトカインストームの制御機構の解明

14:50- 15:05 宮城 聡（島根大学）
造血幹細胞の加齢骨髄環境への適応制御

15:05- 15:20 松下 洋輔（医薬基盤・健康・栄養研究所）
トリプルネガティブ乳癌における膜内在型セリンプロテアーゼの発現制御機構の解明と創薬開発

15:20- 15:35 内橋 俊大（大阪大学）
マウス舌癌頸部リンパ節転移モデルを用いた抗CTLA-4抗体発現型第三世代がん治療HSV-1の治療効果の検討

【領域2：ゲノム・がん・疾患システム共同研究領域】

15:45-16:00 森 汐莉（関西医科大学）
心的ストレスによる前転移ニッチ形成機構の一細胞解析

16:00-16:15 進藤 岳郎（広島大学）
同種造血幹細胞移植後の抗腫瘍免疫と相関する新規バイオマーカーの探索

16:15-16:30 藤原 祥高（国立循環器病研究センター）
遺伝子組換え動物を用いた哺乳類精子の分子メカニズム解析と生殖進化研究

16:30-16:45 大嶋 佑介（富山大学）
大腸がん遠隔転移モデルにおけるがん細胞の遊走・浸潤能のin vivo解析

2月25日（水）

東京大学医科学研究所
千葉大学真菌医学研究センター
合同成果報告会

13:30-13:35 合同成果報告会挨拶
米山 光俊（千葉大学真菌医学研究センター 教授）

13:35-14:20 特別講演

ファージ感染における分子機構の理解と治療研究への展開

氣駕 恒太郎（国立感染症研究所 治療薬開発研究部 室長）

【合同成果報告会（千葉大学真菌医学研究センター）】

14:30-14:45 加納 壘（帝京大学）
動物由来抗真菌薬耐性(AMR)皮膚糸状菌症に対する分子生物学的解析

14:45-15:00 浜本 洋（山形大学）
カイク感染モデルを用いた新規抗真菌薬の探索法確立

15:00-15:15 橋本 陽（理化学研究所）
黒色酵母の体系学的整理とゲノム整備

15:15-15:30 林原 絵美子（国立感染症研究所）
インフルエンザ菌の薬剤耐性機構と薬剤感受性測定法に関する研究

【領域3：感染症・免疫共同研究領域】

15:40-15:55 田村 大輔（自治医科大学）
呼吸器に感染する病原体の小児体内の動態について

15:55-16:10 汪 趙南（九州大学）
ハブ毒液システムの遺伝子発現調節の解明

16:10-16:25 豊田 真子（熊本大学）
HIV 感染者における病態マーカーの探索

16:25-16:40 松本 祐介（鹿児島大学）
全てのパラミクソウイルスに対応する弱毒ワクチン開発機構と新規ワクチンベクターへの応用

16:40-16:45 閉会の辞
川口 寧（東京大学医科学研究所 経理系副所長）

2月27日（金） 国際共同研究成果報告会（言語：英語）

16:00- 16:05 開会の辞
岩間 厚志（東京大学医科学研究所 所長）

【領域1：先端医療研究開発共同研究領域】

16:05 - 16:25 横山 明彦（国立がん研究センター）
Functional interplay between endogenous MLL1/KMT2A and MLL-fusion oncoproteins

16:25 - 16:45 小曾戸 陽一（韓国脳研究院）
Uncovering human neural differentiation by advanced multi-omics for the regeneration of brain function

【領域2：ゲノム・がん・疾患システム共同研究領域】

16:55 -17:15 Dwiranti Astari（インドネシア大学）
Cell Technology for Testing Indonesian Natural Products as Anticancer and Antiaging Agents

17:15 -17:35 Ying-Jung HUANG（林口長庚記念病院）
Exploration of the functional role of FOXP1 in the development of secondary myelofibrosis

【領域3：感染症・免疫共同研究領域】

17:45 -18:05 Mayda GURSEL（イズミル生物医学ゲノム研究センター）
Immunopathology of, and Response to, Protozoan Parasites

18:05 -18:25 Martin LOZA（東京大学医科学研究所）
Discovery of antibodies with potential therapeutic applications aided by machine learning and artificial intelligence

18:25 -18:30 閉会の辞
川口 寧（東京大学医科学研究所 経理系副所長）

参加希望の方は、QRコードから登録をお願いいたします。



【国際共同利用・共同研究拠点事務局】

研究支援課研究推進チーム 佐野・村上
E-mail : ken-jo@ims.u-tokyo.ac.jp

プロジェクトコーディネーター室 井上
E-mail : int-jr@ims.u-tokyo.ac.jp